

交通・運輸

日高管内の道路延長は2,773.2kmで、改良率74.2%、舗装率は73.4%と全道平均(改良率73.5%、舗装率66.6%)をやや上回っています。(平成27年4月1日現在)

国道は、235号(門別～浦河間)、336号(浦河～えりも間)が海岸線の各町を単線的に結び、生活、産業、観光の大動脈としての機能を担っているほか、237号(旧日高町～門別間)、236号(浦河～広尾間)が周辺圏域との連絡路として重要な役割を果たしています。

今後は、軽種馬や農産物・水産物の輸送ルート、また観光拠点へのアクセス道路や救急患者の搬送時間の短縮、災害時の代替道路など、交通ネットワークの整備が最優先課題となっており、平成18年3月にはじめて日高管内で供用開始(日高富川IC)された高規格幹線道路「日高自動車道」の残りは、平成24年3月に日高門別ICまで延伸(5.8km)され、平成29年度後半には日高門別IC～日高厚賀IC(14.2km)が開通予定で、区間の建設促進及び各町を内陸部で結ぶ幹線道路としての整備が期待されています。

管内の鉄道はJR日高本線(苫小牧～様似間)1線となっておりますが、生活や通学などの重要な交通手段として利用され、また、太平洋と馬を楽しめる希少な車窓で観光資源としての活用が検討されているところです。しかし、平成27年1月7日の高波に伴う土砂流出の発生により、運休(鷓川～様似間)して以来、復旧の目途が立っていません。

バス路線については、札幌からえりも町までの区間に都市間バスが運行されています。

港湾は、地方港湾として2港(浦河港・えりも港)があります。現在これらは、主に漁業基地として、あるいは避難港として利用されていますが、今後は、流通体系上の港湾機能を果たすための施設整備を進めるとともに、さらなる利用の促進を図る必要があります。



日高自動車道 日高富川IC



一般国道336号襟広防災(えりも黄金トンネル)

■道路走行距離・時間早見表

	上:距離(km)			
	札幌	新千歳	苫小牧	帯広
日高町(日高)	122	106	106	99
	1:57	1:37	1:51	1:38
平取町	99	65	57	151
	1:27	0:57	1:00	2:22
日高町(門別)	97	64	55	168
	1:24	0:54	0:57	2:39
新冠町	123	89	80	194
	1:50	1:20	1:23	3:05
新ひだか町(静内)	129	96	87	200
	1:59	1:29	1:32	3:14
新ひだか町(三石)	151	118	109	160
	2:24	1:54	1:57	2:59
浦河町	172	138	129	139
	2:49	2:19	2:22	2:34
様似町	185	151	143	141
	3:07	2:37	2:40	2:36
えりも町	210	176	167	131
	3:35	3:05	3:08	2:26

上:距離(km)

下:時間(分)

■交通網



■各町間道路走行距離・時間

日高町(日高)	49km	51分
平取町	17km	17分
日高町(門別)	26km	26分
新冠町	6km	9分
新ひだか町(静内)	22km	25分
新ひだか町(三石)	21km	25分
浦河町	13km	18分
様似町	25km	28分
えりも町		